

大分合同新聞

2022年(令和4年)1月3日(月曜日)



川島整形外科病院 理事長
川島 真人氏

「医もまた自然」、診療の軸に

「水滴は岩をも穿つ」。江戸時代の蘭学者・高野長英の学問訓を掲げ、情熱を持って仕事に向き合い、最後まであきらめずにやり遂げる姿勢を貫いてきた。開業して40年が過ぎ、「医もまた自然なり」という自身の哲学についても思いを新たにしている。中津市で続く村上医家の初代宗伯や、中津藩医で蘭学者の前野良沢の思想に基づくもの。「医療従事者こそ、仕事の軸として、自然を敬う心を忘れて

問題への地道な取り組みを続けている。病院の敷地はもちろん、ロータリークラブなどと連携して市内各地で植樹を実施。病院の屋上には太陽熱集熱器を設置して院内の空調や給湯に活用し、病院から出る廃棄食材はリサイクルして植物の肥料にするなど、「水滴は岩をも穿つ」の精神で、率先して「できること」から実践している。

「医療も自然の一部。自分の力は自然の力の一部だ」という謙譲の心を大切に、自然に逆らわない医療を追求しなければならぬ」と考える。「『医は仁術なり』

はならない」と力を込める。潜水病と骨壊死の研究を通して世界の科学者と交流する中で、早くから地球温暖化への危機感を募らせてきた。病院などを通じた東日本大震災の被災地支援の取り組みでは、自然の力を痛感したという。「持続可能な社会の実現に向け、人と自然の関係を再構築しなければならぬ」と熱く語る。

病院では1990年代前半から、環境というが、絶えず人間形成と医療技術の研さんを行ってはじめて仁術となる」と、スタッフに徹底して謙譲の心を説き、日々の診療や看護で患者と接する際の指針とする。病院で定期的に関く講演会では、人に生まれつき備わっている「自然免疫」を高めようと呼び掛けている。

急性期医療から回復期リハビリ、訪問看護、介護サービスなど、地域住民のさまざまなニーズに応え、骨・関節感染症の「川島式」治療を提供する整形外科の総合病院。その医療を支えているのは、理事長の哲学に他ならない。

病院DATA

- 診療科目
整形外科・リハビリテーション科
リウマチ科・放射線科・脳神経外科
- 診療時間
月～金/9:00～17:30
土/9:00～12:00
- 休日
日曜、祝日、年末年始(12月30日～1月3日)



社会医療法人 玄真堂
川島整形外科病院

中津市宮夫17
TEL0979-24-0464
http://kawashimahp.jp



心技術そろうた医療の実践を目指す